

令和8年度
(2026年度)

教 育 訓 練 計 画



熊本県消防学校

目

次

教育訓練の基本方針	1
教育訓練の種別と目標	1
令和8年度教育訓練日程表	2
教育訓練科目別時間数	
1 消防職員教育	
(1) 初任教育	3
初任科第71期	
(2) 専科教育	5
予防総合科	
救急科第35期	
救助特殊災害科第47期	
(3) 幹部教育	9
初級幹部科	
上級幹部科	
(4) 特別教育	10
指導員研修	
通信指令員研修	
訓練指導者育成研修	
警防隊員研修	
HT研修	
AFT研修	
2 消防団員教育	
(1) 基礎教育	13
普通科	
(2) 専科教育	13
機関科	
(3) 幹部教育	14
初級幹部科	
指揮幹部科 現場指揮課程	
指揮幹部科 分団指揮課程	
(4) 特別教育	15
女性隊員科	
指導員科	
入校手続要領	
1 教育訓練実施計画	18
2 入校申込受付期間	19
3 入校経費	21
4 種別毎の入校対象者	25
5 入校に伴う携行品	27
6 入校心得	29
7 入校手続き	
(1) 初任科第71期入校手続き要領	31
(2) 消防職員入校手続き要領	32
(3) 消防団員及びその他の入校手続き要領	33
(4) 入校経費・別紙1（通学承認申請書）	34
※ 各種様式（様式1～10）	36

教育訓練の基本方針

消防学校教育は、消防職員、消防団員等に対して、校訓に定めるところにより、消防の責務を正しく認識させるとともに、その職責を遂行するために必要な知識、技術の習得を図り、体力、気力の錬成と豊かな人間性を培い、規律と団結を維持し、地域住民の信頼に応えられる消防人を育成することを基本方針とする。

教育訓練の種別と目標

消防職員教育

教 育 種 別		教 育 目 標
初 任	初 任 科 第 7 1 期	新たに採用した消防職員に対して、消防の職務を正しく認識させるとともに基礎的な知識、技術及び災害に対応できる体力を養成する。
専 科	予 防 総 合 科	査察・危険物行政の現状と課題を理解し、防火管理や違反処理、危険物の特性等に関する専門的な知識及び技術を養成する。
	救 急 科 第 3 5 期	救急隊員の資格取得及び救急現場対応力の向上を目的として、応急処置や救命活動に関する専門的な知識・技術を総合的に養成する。
	救 助 特 殊 災 害 科 第 4 7 期	救助隊員の資格取得及び特殊災害対応力の向上を目的として、救助活動や特殊物質に関する専門的な知識・技術を総合的に養成する。
幹 部	初 級 幹 部 科	監督者としての部下指導能力、現場指揮能力、業務遂行能力を養成する。
	上 級 幹 部 科	業務管理、人事管理及び危機管理に必要な知識、技術を養成する。
特 別	指 導 員 研 修	消防団指導に必要な消防操法（ポンプ車及び小型ポンプ）の要領及び審査に関する知識、技術を養成する。
	通 信 指 令 員 研 修	迅速で的確な指令技術と判断力を習得し、緊急事態における効果的な対応力及び外国人通報者への対応力を養成する。
	訓練指導者育成研修	人材育成に関する多角的な知見を習得し、若手職員に対して思想・ビジョンを示し導くことができるリーダーを養成する。
	警 防 隊 員 研 修	災害現場経験の少ない消防職員（初任教育修了後5年未満の者）に対し、資機材取扱、救助技術、火災防ぎよ等の知識及び技術を養成する。
	H T 研 修	実火災体験型訓練施設を使用して、火災の性状変化、熱と煙、注水による熱気環境の変化を体験させ、火災防ぎよ等の知識及び技術を養成する。
	A F T 研 修	模擬火災訓練施設を使用して、臨場感ある火災現場を再現し、火災防ぎよ等の知識及び技術を養成する。
	消 防 本 部 企 画 訓 練 (AFT 半 日 入 校)	消防本部の企画訓練において必要とされる知識・技能を習得し、的確な判断力と実践的対応力を備えた人材を養成する。
	一 般 研 修 (安全管理教育等)	最新の情報又は体制等を主体に新たな消防事象への対応能力を養成する。
その他	救急救命士再講習 (県MC 共同開催)	救急救命士の専門的な知識及び技術を養成する。

消防団員教育

基 礎	普 通 科	消防団の任務を理解し、下命に基づく現場活動能力を養成する。
専 科	機 関 科	消防ポンプ運用、整備等に関する知識及び技術を養成する。
幹 部	初 級 幹 部 科	災害現場での活動要領を理解し、局面的な現場指揮及び安全管理能力を養成する。
	指 揮 幹 部 科 (現場指揮課程)	災害現場での統括的な現場指揮及び安全管理能力を養成する。
	指 揮 幹 部 科 (分団指揮課程)	消防団の管理運営、効果的な現場活動能力を養成する。
特 別	女 性 隊 員 科	消防の規律、組織的な行動や防火防災、救急救助等の知識及び技術を養成する。
	指 導 員 科 (県消防協会共同開催)	副団長及び分団長の階級にある中級幹部科又は指揮幹部科（現場・分団指揮課程）修了者に消防の高度な知識及び技術を修得させ、指導者としての資質を養成する。
その他	ド ロ ー ン 研 修 (消防保安課共同開催)	ドローンの専門的な知識及び操作・活用技術を養成する。

その他の教育

一 般 消 防 教 育	各種団体、一般県民の要請に基づき、希望する消防防災や救急等の知識及び技術を習得させ、また、防災に関する教育訓練に学校施設等を提供し防火防災意識の普及啓発を図る。（自主防災組織、自衛消防隊、防火クラブ員等含む）
-------------	--

令和8年度 教育訓練日程表

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30											
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木											
							初任科																										指導員研修								
							入寮	入校式																																	
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日										
	初任科																															団員機関科									
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30											
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火											
	初任科																															①団員初級幹部科									
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金										
	初任科																															富士登山研修		①団員現場指揮課程							
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月										
	初任科																															②団員初級幹部科		実務研修							
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30											
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水											
	初任科																	卒業式																							
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土										
	初級幹部科																救助特殊災害科															①団員分団指揮課程		③団員初級幹部科							
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30											
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月											
	救助特殊災害科																				②団員現場指揮課程										予防総合科										団員普通科
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木										
	予防総合科												上級幹部科										団員指導員科									女性隊員科		通信指令員研修							
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日										
								救急科																								④団員初級幹部科		消防本部企画訓練(AFT半日入校) 受付期間(平日のみ)							
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28													
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日													
	消防本部企画訓練(AFT半日入校) 受付期間(平日のみ)												②団員分団指揮課程										HT研修										病院実習								
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水										
	救急科		AFT研修					警防隊員研修										訓練指導者育成研修																							

教育訓練科目別時間数

1 消防職員教育

(1) 初任教育

初任科第71期

初任科第7 1 期			実 施 期 間				全日数	実日数	教育時間			
			R8. 4. 7(火) ～ 9.17(木)				164日	112日	800時間			
教 科 目			内 訳					実 施 時 間	基 準 時 間	備 考		
			消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間				大 学 関 係	
基礎教育	倫 理		5						5	5		
	法学基礎・ 消防法	法制通論	8						20	20		
		消防法	12									
	消防組織制度		9						9	9		
	サービスと勤務	地方公務員法（ハラスメント対策含む）		5						29		28
		消防実務・勤務条件		7		4						
		接 遇		2		3						
		道路交通法					2					
		金融問題			2							
		犯罪と事故防止					2					
		人権啓発						2				
	理化学	物理・化学						3		10		10
		電 気						3				
		燃焼と消火		1				3				
実務教育	予防広報		16		4				20	20		
	危険物（国家試験対策含む）		11						11	8		
	消防用設備（国家試験対策含む）		13						13	12		
	査 察		27						27	27		
	建 築		10						10	10		
	安全管理		14				2		16	16		
	特殊災害と保安		7		3				10	10		
	火災防ぎょ	防ぎょ活動	30						30	30		
	火災調査		15						15	15		
	防災	災害対策			4					23		23
		気象と災害					7					
		地震対策					4					
		水災防ぎょ		4								
		水災防ぎょ（実科）		4								
救 急		50						50	50			
消防機械・ポンプ		7				3		10	10			

教 科 目			内 訳						実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
			消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係			
実 科 訓 練	訓練礼式		50						50	50	救助技術大会含
	消防活動訓練	基本訓練	64						82	82	
		消防操法	18								
	救助訓練		54						54	45	
	機器取扱訓練		55						55	55	
	消防活動 応用訓練	消火想定訓練	15						76	85	俵山
		救助想定訓練	10								
		夜間想定訓練	6								
		校外訓練	7								
		総合訓練	38								
	体 育	スポーツ外傷					2		47	55	
		トレーニング理論					2				
		栄養管理指導					1				
		水難救助法			14						
		走力養成	10								
		体 育（水泳・駅伝大会）	12								
		体力測定	6								
実務研修				35				35	35	関東方面予定	
選択研修	消防メンタル					7		35	40		
	無線講習（第三級特殊無線技士）					7					
	視察研修	21									
行事・その他	入校式準備	9						58	50		県庁・局・航空C 情操・意見発表含
	入校式	1									
	卒業式準備	4									
	実科査閲	2									
	卒業式	1									
	九州地区消防救助技術指導会	7									
	施設見学	11									
	社会講話、業務講話	7		4							
	器具整備	4									
	環境整備	8									
	合 計			677	6	67	15			35	

1 消防職員教育

(2) 専科教育

予防総合科

予防総合科		実 施 期 間			全日数		実日数		教育時間	
		R8.11.26(木) ～ 12.11(金)			16日		12日		84時間	
		内 訳						実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係			
講 話		1						1	1	危険物の教科目
予防査察行政の現状と課題			1					1	1	
消防同意（消防同意の概要）				6				6	6	
査察	査察要領			21		3		24	24	
	査察執行管理									
火災予防条例	火気使用設備・器具等 少量危険物・指定可燃物施設等			4				4	4	
危険物行政の 現状と課題	危険物行政の現状と課題			1				1	2	
危険物化学	危険物の概要・消防活動阻害物質			2				2	5	
危険物規制	危険物施設の規制			7				11	21	
	危険物施設の基準（貯蔵・取扱）									
	許認可事務									
	危険物施設の違反処理			4						
違反処理	違反処理の概要			14				14	14	
	違反処理の手続									
	違反処理の要領									
	危険物取扱者及び消防設備士に対する行政措置									
	不服審査手続									
査察・違反処理実習				4		4		8	8	
事例研究	事例研究課題討議	7						7	7	
訓練礼式		1						1	1	
効果測定		2						2	2	
行事・その他（入校式・修了式）		2						2	2	
予防査察教育 合計		13	1	49	0	7	0	70	70	予防査察基準
危険物教育 合計		0	0	14	0	0	0	14	28	危険物基準 （重複科目を除く）
合 計		13	1	63		7		84	98	

1 消防職員教育

(2) 専科教育

救急科第35期

救急科第35期		実 施 期 間				全日数	実日数	教育時間			
		R9. 1. 6(水)～3. 2(火)				56日	37日	259時間			
教 科 目		内 訳						実 施 時 間	基 準 時 間	備 考	
		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係				
救急業務及び 救急医学の基礎	救急業務総論・医学概論	2	4				3	40	50		
	解剖・生理			3		8	6				
	社会保障・社会福祉		2								
	救急実務及び関係法規	4		6		2					
応急処置の総論	観 察			8				88	73		
	検 査					2					
	応急処置総論・各論	36		29		3					
	救急医療・災害医療		2	5		3					
病態別 応急処置	心肺停止		3			4		65	67		
	ショック・循環不全・呼吸困難					4					
	意識障害・頭痛・めまい・麻痺					2	2				
	胸痛・動悸					2					
	腹痛・腰背部痛					4					
	出血					2					
	一般外傷			4		11	2				
	頭部、頸椎(頸髄)損傷					4					
	熱傷・電撃傷					2					
	中 毒					2					
	内科疾患	9		4							
	異物(気道・消化管)					2					
	溺水			2							
	特殊病態別 応急処置	小児・新生児					3				
高 齢 者						2					
産婦人科・周産期							4				
精神障害						2					
その他の創傷・特殊病態の処置等						7	4				
実 習 及 び 行 事 ・ そ の 他	実 習	シミュレーション実習	2		14			44	35		
		病院内研修					7				
	人事業務	惨事ストレス対策					2				
		人権問題					2				
	応急手当指導員講習		3								
	効果測定(学科3・実科4)		7								
	環境整備		1								
	訓練礼式										
	事例研究		4								
入校式・修了式		2									
合 計		70	11	75	0	82	21	259	250		

1 消防職員教育

(2) 専科教育

救助特殊災害科第47期

救助特殊災害科第4 7期		実 施 期 間					全日数	実日数	教育時間	
		R8.10.19(月)～11.20(金)					33日	24日	168時間	
教 科 目		内 訳						実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係			
講 話		1						1	1	特殊災害の教科目
安全管理	概要（関係法令・機関連携等）	1						13	21	
	救助活動時の安全管理	3		2						
	救助訓練時の安全管理	3		3						
	危険予知訓練	1								
災害救助対策	概要（関係法令、任務・編成等）	2						21	23	
	緊急消防援助隊	2								
	救助対策と活動事例	3	2	3		9				
救 急	外傷処置	1						2	5	
	多数傷病者発生時の処置	1								
救助器具取扱訓練	主要な救助器具の取扱 （一般救助・重量物排除・切断・ 破壊・隊員保護等）	5						17	21	
	主要な救助器具の取扱 （検知・除染・水難・山岳・ 高度救助・その他等）			12						
危険性物質等に 係る基礎知識・ 関係法令	危険性物質等の基礎知識						4	7	15	
	関係法令		3							
特殊災害に対する 消防活動要領	危険性物質災害における 活動要領				6			10	16	
	特殊な空間・環境における 活動要領			4						
特殊災害における 安全管理	危険性物質災害における 安全管理	2						4	5	
	特殊な空間・環境における 安全管理		2							
	テロ災害における安全管理									
救助訓練	高所救助	5						34	30	
	低所救助	5								
	火災救助（濃煙内検索）			3						
	交通事故救助			3						
	地震活動救助			3						
	その他の事故救助			12						
	救急救助					2				
	航空救助		1							
総合訓練	学生企画訓練	10						35	30	
	想定訓練	7		14		4				
健康管理	トレーニング理論					2		9	3	
	スポーツ外傷					2				
	栄養管理指導					1				
	惨事ストレス対策	2								
	体力測定他	2								

教 科 目		内 訳						実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係			
行事・その他	環境整備	3						15	6	
	訓練礼式	1								
	効果測定（学科2、実科5・プレテスト2）	9								
	入校式・修了式	2								
救助教育 合計		69	3	55	0	20	0	147	147	救助基準
特殊災害教育 合計		2	5	4	6		4	21	36	特殊災害基準 （重複科目を除く）
合 計		71	8	59	6	20	4	168	183	

1 消防職員教育

(3) 幹部教育

初級幹部科

		実 施 期 間					全日数	実日数	教育時間
		R8.10. 1(木)～10.15(木)					15日	10日	70時間
教 科 目		内 訳					実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間			
講 話		1					1	1	
訓練礼式	通常点検・物品授受要領	2					2	2	
消防時事（消防行政・消防法令）			3	6			9	8	
消防財政(国と地方関係・財政の仕組み)			2				2	3	
人事業務管理	組織と監督・議会・事故防止	2					9	12	
	人権問題（ハラスメント対策含む）					3			
	健康管理指導等	3				1			
安全管理	公務災害・安全対策	2	3	3			8	10	
現場指揮	災害現場の指揮・要領等	3		17			20	18	
事例研究	訓練と事故事例	4	2	7	3		16	15	
効果測定		1					1		
行事・その他（入校式・修了式）		2					2	1	
合 計		20	10	33	3	4	70	70	

(3) 幹部教育

上級幹部科

		実 施 期 間					全日数	実日数	教育時間
		R8.12.22(火) ～ 12.24(木)					3日	3日	21時間
教 科 目		内 訳					実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間			
管理職の役割		2					2	2	
業務管理	地方自治、消防行財政		3				3	3	
	情報政策		2				2		
人事管理	人事管理、人権（ハラスメント対策含む）					3	3	4	
危機管理	危機管理と国民保護						4	3	
事例研究				2		3	5	8	
行事・その他（入校式・修了式）		2					2	1	
合 計		4	5	2		6	21	21	

1 消防職員教育

(4) 特別教育

指導員研修

		実 施 期 間					全日数	実日数	教育時間
		R8.4.21(火)～4.22(水)					2日	1日	9時間
教 科 目		内 訳					実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間			
操法実技・審査要領（統一事項等）		2					2		オンライン
小型ポンプ	操法実技	4					4		
	操法審査要領								
ポンプ車	操法実技	3					3		
	操法審査要領								
合 計		9	0	0	0	0	9		

(4) 特別教育

通信指令員研修

		実 施 期 間					全日数	実日数	教育時間
		R8.12.15(火)～12.17(木)					3日	3日	21時間
教 科 目		内 訳					実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間			
コミュニケーションスキル						2	2		
救急対応（口頭指導）						1	1		
各種災害事案対応						1	1		
個人情報保護						1	1		
模擬通報訓練						3	3		
図上訓練						5	5		
外国人対応					3		3		
事例検討				3			3		
行事・その他（入校式・修了式）		2					2		
合 計		2	0	3	3	13	21		

1 消防職員教育

(4) 特別教育

訓練指導者育成研修

		実 施 期 間						全日数	実日数	教育時間
		R9.3.15(月) ~ 3.19(金)						5日	5日	35時間
教 科 目		内 訳						実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係			
教育技法	人材育成（若手指導）	2	2					4		
	学校教育技法				3			3		
	訓練の意義			2				2		
コミュニケーションスキル							2	2		
ハラスメント防止対策			2					2		
安全管理（リスクマネジメント）				3				3		
指導技法		3						3		
指導演習		10						10		
事例検討		4						4		
行事・その他（入校式・修了式）		2						2		
合 計		21	4	5	3	0	2	35		

(4) 特別教育

警防隊員研修

		実 施 期 間						全日数	実日数	教育時間
		R9. 3. 8(月) ~ 3.12(金)						5日	5日	35時間
教 科 目		内 訳						実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係			
機器取扱訓練	三連梯子・空気呼吸器	7						7		
ポンプ運用訓練	揚水・放水・中継要領	7						7		
	ホース延長要領									
火災防ぎょ訓練		7						7		
安全管理		2						2		
火災想定訓練		6						6		
環境整備		1						1		
訓練礼式	各個・集合・通常点検・受領	3						3		
行事・その他（入校式・修了式）		2						2		
合 計		35	0	0	0	0	0	35		

1 消防職員教育

(4) 特別教育

HT研修

		実 施 期 間						実日数	教育時間	実施回数
		R9.2.24(水)・25(木)・26(金)						1日	7時間	3回
教 科 目		内 訳						実施時間	基準時間	備 考
		消防学校	県庁	消防本部	官公庁等	民間	大学関係			
火災防ぎょ	火災性状の基礎知識	3						3		
	注水要領の基礎知識									
	個人装備の性能と特性									
注水技術習得訓練		1						1		
火災性状確認訓練 (ホットトレーニング)		3						3		
合 計		7	0	0	0	0	0	7		

(4) 特別教育

AFT研修

		実 施 期 間						実日数	教育時間	実施回数
		R9.3.3(水)・4(木)・5(金)						1日	7時間	3回
教 科 目		内 訳						実施時間	基準時間	備 考
		消防学校	県庁	消防本部	官公庁等	民間	大学関係			
火災防ぎょ	火災性状の基礎知識	3						3		
	注水要領の基礎知識									
	個人装備の性能と特性									
注水技術習得訓練		1						1		
模擬火災想定訓練 (AFT)		3						3		
合 計		7	0	0	0	0	0	7		

2 消防団員教育

(1) 基礎教育

普通科

普通科		実 施 期 間				実施日数		教育時間		実施回数	
		R8. 11.1(日)				1日		7時間		1 回	
教 科 目		内 訳						実 施 時 間	基 準 時 間	備 考	
		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係				
講 話	職責と心構え								1		
訓練礼式	各個・敬礼・小隊訓練	1						2	2		
	通常点検	1									
消防制度	消防団の概要・活動	1						1	2		
火災防ぎょ	火災の意義・防ぎょの原則								3		
防災	防災対策・現場活動要領								2		
緊急自動車運行管理	道路交通法・道路運送車両法								2		
安全管理	危険予知訓練（危険要因・予防）								2		
救急救助	心肺蘇生法・搬送法等		1							1	5
ポンプ操法	ポンプ運用・ホース取扱等	1						2	4		
	放水訓練	1									
行事・その他	入校式・修了式	1						1	1		
合 計		7	0	0	0	0	0	7	24		

(2) 専科教育

機関科

		実 施 期 間						実施日数	教育時間	実施回数
		R8. 5.24(日)						1日	7時間	1回
教 科 目		内 訳						実施時間	基準時間	備 考
		消防学校	県庁	消防本部	官公庁等	民間	大学関係			
講 話									1	
交通法規関係	交通法規	1						1	1	
	緊急走行								2	
ポンプ運用	ポンプの構造と作用					1		4	5	
	ポンプ運用訓練					3				
機関整備	点検整備・故障と対策					1		1	2	
行事・その他	入校式・修了式	1						1	1	
合 計		2	0	0	0	5	0	7	12	

2 消防団員教育

(3) 幹部教育

初級幹部科

初級幹部科		実 施 期 間					実施日数	教育時間	実施回数	
		① R8. 6. 6(土) ～ 6. 7(日)					2日間	14時間	4回	
		② R8. 8. 1(土) ～ 8. 2(日)								
		③ R8.10.16(金) ～ 10.17(土)								
		④ R9. 1. 16(土) ～ 1. 17(日)								
教 科 目		内 訳						実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係			
講 話		1						1	1	
訓練礼式		2						2	1	
現場指揮		3						3	3	
防災（各種資機材取扱い）		2						2	2	
防災指導要領		2						2	2	
安全管理		0				3		3	2	
行事・その他		1						1	1	
合 計		11	0	0	0	3	0	14	12	

(3) 幹部教育

指揮幹部科

現場指揮課程

指揮幹部科 現場指揮課程		実 施 期 間					実施日数	教育時間	実施回数
		① R8. 7.25(土) ~ 7.26(日)							
		② R8.11.21(土) ~ 11.22(日)					2日間	14時間	2回
教 科 目	内 訳						実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
	消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係			
講話・現場指揮・安全管理	1				2		3	1	
火災防ぎょ訓練	2						2	2	
水災活動訓練	1						1	2	
救助・救命訓練	2						2	4	
避難誘導訓練	1						1	2	
災害情報集・伝達訓練	2						2	1	
地域防災指導訓練	1						1	1	
訓練礼式	1						1		
行事・その他	1						1	1	
合 計	12	0	0	0	2	0	14	14	

2 消防団員教育

(3) 幹部教育

指揮幹部科

分団指揮課程

指揮幹部科 分団指揮課程		実 施 期 間					実施日数	教育時間	実施回数	
		① R8. 10.3(土) ～ 10. 4(日)					2日間	14時間	2回	
		② R9. 2.13(土) ～ 2. 14(日)								
教 科 目		消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係	実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
講話・組織制度・安全管理		1			2			3	2	
防 災		1						3	3	
災害対応図上訓練		4						4	2	
事例研究		4						4	2	
訓練礼式		1						1		
行事・その他		1						1	1	
合 計		12	0	0	2	0	0	14	10	

(4) 特別教育

女性隊員科

女性隊員科		実 施 期 間				実施日数	教育時間	実施回数	
		R8. 12.13(日)				1日間	7時間	1回	
教 科 目	内 訳						実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
	消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係			
講 話	1						1		
訓練礼式	1						1		
各種災害対応訓練	2						2		
事例研究	2						2		
行事・その他	1						1		
合 計	7	0	0	0	0	0	7		

2 消防団員教育

(4) 特別教育

指導員科

指導員科	実 施 期 間					実施日数	教育時間	実施回数	
	R8.12. 5 (土) ～ 12. 6 (日)					2日間	14時間	1回	
教 科 目	内 訳						実 施 時 間	基 準 時 間	備 考
	消 防 学 校	県 庁	消 防 本 部	官 公 庁 等	民 間	大 学 関 係			
講話（幹部の心得）	1						1		
現場指揮・安全管理	2						2		
訓練礼式	1						1		
防災対策全般（国民保護を含む）	1						1		
災害情報伝達訓練（図上訓練を含む）	2						2		
火災防ぎょ	1						1		
救助救命活動（応急処置を含む）	2						2		
水災活動	1						1		
住民指導	1						1		
事例研究	0				1		1		
行事・その他	1						1		
合 計	13	0	0	0	1	0	14		

**令和8年度
(2026年度)**

入校手続要領



1 教育訓練実施計画

消防職員教育

教育計画 教育種別		実施計画				実施期間				
		実施回数	予定人員	全日数	実日数					
初任	初任科第71期	1		164	112	R8.4.7	(火)	～	R8.9.17	(木)
専科	予防総合科	1		16	12	R8.11.26	(木)	～	R8.12.11	(金)
	予防総合科 (危険物のみ入校)	1		2	2	R8.12.2	(水)	～	R8.12.3	(木)
	救急科第35期	1		56	37	R9.1.6	(水)	～	R9.3.2	(火)
	救助特殊災害科 第47期	1		33	24	R8.10.19	(月)	～	R8.11.20	(金)
	救助特殊災害科 (特殊災害のみ入校)	1		3	3	R8.10.27	(火)	～	R8.10.29	(木)
幹部	初級幹部科	1		15	10	R8.10.1	(木)	～	R8.10.15	(木)
	上級幹部科	1		3	3	R8.12.22	(火)	～	R8.12.24	(木)
特別	指導員研修	1		2	1	R8.4.21 (火)～R8.4.22 (水) ※21 (火)はオンライン教育				
	通信指令員研修	1		3	3	R8.12.15	(火)	～	R8.12.17	(木)
	訓練指導者育成研修	1		5	5	R9.3.15	(月)	～	R9.3.19	(金)
	警防隊員研修	1		5	5	R9.3.8	(月)	～	R9.3.12	(金)
	H T 研修	3		1	1	R9.2.24 (水)・25 (木)・26 (金)				
	A F T 研修	3		1	1	R9.3.3 (水)・4 (木)・5 (金)				
	消防本部企画訓練 (AFT半日入校)	各本部 2回				R9.1.19 (火)～R9.2.10 (水) の期間中における任意の日 ※平日のみ				
その他	一般研修 (安全管理教育等)					日程未定				
	救急救命士再教育	1		1	1	日程未定 (県MC主催)				

消防団員教育

基礎	普通科	1		1	1	R8.11.1	(日)			
専科	機関科	1		1	1	R8.5.24	(日)			
幹部	初級幹部科	4		2	2	R8.6.6	(土)	～	R8.6.7	(日)
						R8.8.1	(土)	～	R8.8.2	(日)
						R8.10.16	(金)	～	R8.10.17	(土)
						R9.1.16	(土)	～	R9.1.17	(日)
	指揮幹部科 (現場指揮課程)	2		2	2	R8.7.25	(土)	～	R8.7.26	(日)
						R8.11.21	(土)	～	R8.11.22	(日)
	指揮幹部科 (分団指揮課程)	2		2	2	R8.10.3	(土)	～	R8.10.4	(日)
特別	女性隊員科	1		1	1	R8.12.13	(日)			
	指導員科	1		2	2	R8.12.5	(土)	～	R8.12.6	(日)
その他	ドローン研修					日程・回数未定 (消防保安課共同開催)				

その他の教育

一般消防教育						日程未定 (随時受付)				
--------	--	--	--	--	--	-------------	--	--	--	--

2 入校申込受付期間

消防職員教育

教 育 種 別		入 校 申 込 受 付 期 間					提 出 書 類			
							申 込 書	問 診 票	ア フ ト (任意)	究 事 討 例 議 研
初 任	初 任 科 第 71 期	R8.1.19	(月)	～	R8.2.27	(金)	初任科入校申込要領参照			
専 科	予 防 総 合 科	R8.9.14	(月)	～	R8.9.25	(金)	様式1	様式3	様式4	様式5
	予 防 総 合 科 (危険物のみ入校)								×	×
	救 急 科 第 3 5 期	R8.10.13	(火)	～	R8.10.23	(金)	様式1	様式3	様式4	様式5
	救 助 特 殊 災 害 科 第 47 期	R8.8.3	(月)	～	R8.8.14	(金)	様式1	様式3	様式4	様式5
	救 助 特 殊 災 害 科 (特殊災害のみ入校)								×	×
幹 部	初 級 幹 部 科	R8.7.21	(火)	～	R8.7.31	(金)	様式1	様式3	様式4	様式5
	上 級 幹 部 科	R8.10.13	(火)	～	R8.10.23	(金)	様式1	様式3	様式4	×
特 別	指 導 員 研 修	R8.2.9	(月)	～	R8.2.20	(金)	様式1	様式3	×	×
	通 信 指 令 員 研 修	R8.10.5	(月)	～	R8.10.16	(金)	様式1	様式3	×	×
	訓練指導者育成研修	R9.1.4	(月)	～	R9.1.15	(金)	様式1	様式3	×	×
	警 防 隊 員 研 修	R8.12.21	(月)	～	R9.1.8	(金)	様式1	様式3	×	×
	H T 研 修	R8.12.14	(月)	～	R8.12.25	(金)	様式1	様式3	×	×
	A F T 研 修	R8.12.14	(月)	～	R8.12.25	(金)	様式1	様式3	×	×
	消防本部企画訓練 (AFT半日入校)	別 途 通 知 ※訓練企画書の提出が必要								
	一 般 研 修	日 程 未 定								
その他	救急救命士再講習	別 途 通 知					様式7	×	×	×

2 入校申込受付期間

消防団員教育

教 育 種 別		入 校 申 込 受 付 期 間					提 出 書 類			
							申 込 書	問 診 票	ア ン ケ ー ト (任 意)	究 事 討 例 議 研
基 礎	普 通 科	R8.9.28	(月)	～	R8.10.1	(木)	様式2	不 要		
専 科	機 関 科	R8.4.20	(月)	～	R8.4.23	(木)				
幹 部	初 級 幹 部 科	R8.4.27	(月)	～	R8.4.30	(木)				
		R8.6.29	(月)	～	R8.7.2	(木)				
		R8.9.14	(月)	～	R8.9.17	(木)				
		R8.12.14	(月)	～	R8.12.17	(木)				
	指揮幹部科 (現場指揮課程)	R8.6.22	(月)	～	R8.6.25	(木)				
		R8.10.19	(月)	～	R8.10.22	(木)				
	指揮幹部科 (分団指揮課程)	R8.8.31	(月)	～	R8.9.3	(木)				
		R9.1.8	(金)	～	R9.1.14	(木)				
特 別	女 性 隊 員 科	R8.11.9	(月)	～	R8.11.12	(木)	様式2	※熊本県消防協会へ申し込むこと。		
	指 導 員 科	R8.11.2	(月)	～	R8.11.5	(木)				
その他	ド ロ ー ン 研 修	別 途 通 知								

その他の教育

一 般 消 防 教 育	入校希望1ヶ月前	様式7	不 要
-------------	----------	-----	-----

注) 入校申込みは、受付開始日の午前8時30分から受付締切日の午後5時までに必着とすること。

3 入校経費

消防職員教育

教 育 種 別		教 育		経 費 (円／1人)						
		全日数	実日数	食 費		図書教材費	実習費	共益費等	合 計	
初 任	初 任 科 第 7 1 期	164	112	宿泊	173,930	66,140	172,990	43,210	宿泊	456,270
専 科	予 防 総 合 科	16	12	宿泊	18,190	14,580	0	5,780	宿泊	38,550
				通学	8,760	14,580	0	4,320	通学	27,660
	予 防 総 合 科 (危険物のみ2日間入校)	2	2	宿泊	1,940	4,060	0	1,450	宿泊	7,450
				通学	1,460	4,060	0	720	通学	6,240
	救 急 科 第 3 5 期	56	37	宿泊	52,630	20,960	5,770	19,160	宿泊	98,520
				通学	26,280	20,960	5,770	13,320	通学	66,330
	救 助 特 殊 災 害 科 第 4 7 期	33	24	宿泊	35,650	20,140	13,730	12,290	宿泊	81,810
				通学	17,520	20,140	13,730	8,640	通学	60,030
	救 助 特 殊 災 害 科 (特殊災害のみ3日間入校)	3	3	宿泊	3,880	5,360	0	1,810	宿泊	11,050
				通学	2,190	5,360	0	1,080	通学	8,630
幹 部	初 級 幹 部 科	15	10	宿泊	14,310	7,410	220	5,060	宿泊	27,000
				通学	7,300	7,410	220	3,600	通学	18,530
	上 級 幹 部 科	3	3	宿泊	3,880	6,280	0	1,810	宿泊	11,970
				通学	2,190	6,280	0	1,080	通学	9,550
特 別	指 導 員 研 修	2	1	通学	730	1,490	0	360	通学	2,580
	通 信 指 令 員 研 修	3	3	宿泊	3,880	4,330	1,950	1,810	宿泊	11,970
				通学	2,190	4,330	1,950	1,080	通学	9,550
	訓 練 指 導 者 育 成 研 修	5	5	宿泊	7,760	8,570	0	2,530	宿泊	18,860
				通学	3,650	8,570	0	1,800	通学	14,020
	警 防 隊 員 研 修	5	5	宿泊	7,760	7,000	220	2,530	宿泊	17,510
				通学	3,650	7,000	220	1,800	通学	12,670
	H T 研 修	1 【3回】	1 【3回】	通学	730	300	220	360	通学	1,610
	A F T 研 修	1 【3回】	1 【3回】	通学	730	300	220	360	通学	1,610
消防本部企画訓練 (A F T半日入校)	1	0.5	通学	0	0	0	360	通学	360	
その他	一般研修 (安全管理教育等)			通学	※入校経費については、別途通知します。				通学	
	救急救命士再講習	1	1	通学					通学	

3 入校経費

消防団員教育

教 育 種 別		教 育		経 費 (円/1人)						
		全日数	実日数	食 費	図書教材費	実習費	共益費等	合 計		
基 礎	普 通 科	1	1	通学	730	840	0	360	通学	1,930
専 科	機 関 科	1	1	通学	730	840	0	360	通学	1,930
幹 部	初 級 幹 部 科	2 【4回】	2 【4回】	宿泊	2,670	2,640	0	1,090	宿泊	6,400
				通学	1,460	2,640	0	720	通学	4,820
	指 揮 幹 部 科 ・ 現 場 指 揮 課 程 ・ 分 団 指 揮 課 程	2 各 【2回】	2 各 【2回】	宿泊	2,670	2,640	0	1,090	宿泊	6,400
				通学	1,460	2,640	0	720	通学	4,820
特 別	女 性 隊 員 科	1	1	通学	730	840	0	360	通学	1,930
	指 導 員 科	2	2	宿泊	2,670	840	0	1,090	宿泊	4,600
				通学	1,460	840	0	720	通学	3,020

■. その他の教育

一 般 消 防 教 育	資料有	通学	730	300	0	360	通学	1,390
	資料無	通学	730	0	0	360	通学	1,090

※ 消防職員及び消防団員の入校経費について

- 1 食費には、原則として土曜、日曜、祝日の食事及び入寮日の朝食、出寮日の夕食は含まない。ただし、授業を実施する場合は含むものとする。
- 2 消防職員教育（初任科を除く）の食費には、水曜日の夕食は含まない。
- 3 図書教材費は、教科書及び参考書籍等の費用とする。
- 4 実習費は、校外研修及び訓練資器材等の費用とする。
- 5 共益費等は、学校生活に係る各種費用とする。（宿泊の寝具リース代含む）

3 入校経費（食費内訳）

消防職員教育

教 育 種 別		教 育		食 費（円／1人）				
		全日数	実日数		合計	朝食	昼食	夕食
初 任	初 任 科 第 7 1 期	164	112	宿泊	173,930	38,880	75,920	59,130
専 科	予 防 総 合 科	16	12	宿泊	18,190	4,320	8,760	5,110
				通学	8,760	0	8,760	0
	予 防 総 合 科 （危険物のみ2日間入校）	2	2	宿泊	1,940	480	1,460	0
				通学	1,460	0	1,460	0
	救 急 科 第 3 5 期	56	37	宿泊	52,630	12,480	26,280	13,870
				通学	26,280	0	26,280	0
	救 助 特 殊 災 害 科 第 4 7 期	33	24	宿泊	35,650	8,640	17,520	9,490
				通学	17,520	0	17,520	0
幹 部	初 級 幹 部 科	15	10	宿泊	14,310	3,360	7,300	3,650
				通学	7,300	0	7,300	0
	上 級 幹 部 科	3	3	宿泊	3,880	960	2,190	730
				通学	2,190	0	2,190	0
特 別	指 導 員 研 修	2	1	通学	730	0	730	0
	通 信 指 令 員 研 修	3	3	宿泊	3,880	960	2,190	730
				通学	2,190	0	2,190	0
	訓 練 指 導 者 育 成 研 修	5	5	宿泊	7,760	1,920	3,650	2,190
				通学	3,650	0	3,650	0
	警 防 隊 員 研 修	5	5	宿泊	7,760	1,920	3,650	2,190
				通学	3,650	0	3,650	0
	H T 研 修	1 【3回】	1 【3回】	通学	730	0	730	0
その他	A F T 研 修	1 【3回】	1 【3回】	通学	730	0	730	0
	消 防 本 部 企 画 訓 練 （A F T 半 日 入 校）	1	0.5	通学	0	0	0	0
	一 般 研 修 （ 安 全 管 理 教 育 等 ）			通学	※入校経費については、別途通知します。			
	救 急 救 命 士 再 講 習	1	1	通学				

3 入校経費（食費内訳）

消防団員教育

教 育 種 別		教 育		食 費（円／1人）					
		全日数	実日数		合計	朝食	昼食	夕食	
基 礎	普 通 科	1	1	通学	730	0	730	0	
専 科	機 関 科	1	1	通学	730	0	730	0	
幹 部	初 級 幹 部 科	2 【4回】	2 【4回】	宿泊	2,670	480	1,460	730	
				通学	1,460	0	1,460	0	
	指 揮 幹 部 科 ・ 現 場 指 揮 課 程 ・ 分 団 指 揮 課 程	2 各 【2回】	2 各 【2回】	宿泊	2,670	480	1,460	730	
				通学	1,460	0	1,460	0	
特 別	女 性 隊 員 科	1	1	通学	730	0	730	0	
	指 導 員 科	2	2	宿泊	2,670	480	1,460	730	
				通学	1,460	0	1,460	0	

■. その他の教育

一 般 消 防 教 育	資料有	通学	730	0	730	0
	資料無	通学	730	0	730	0

※ 消防職員及び消防団員の入校経費について

- 1 食費には、原則として土曜、日曜、祝日の食事及び入寮日の朝食、出寮日の夕食は含まない。ただし、授業を実施する場合は含むものとする。
- 2 消防職員教育（初任科を除く）の食費には、水曜日の夕食は含まない。

4 種別毎の入校対象者

消防職員教育

教 育 種 別		入 校 対 象 者
初 任	初 任 科 第 71 期	新たに採用された消防職員又は初任教育未受講者
専 科	予 防 総 合 科	予防・査察業務に従事している者又は従事する予定の者
	予 防 総 合 科 (危険物のみ2日間入校)	予防査察科（令和6年度以前）を修了している者で、新たに危険物教科 目のみを受講する者
	救 急 科 第 3 5 期	救急業務に従事する予定の者
	救 助 特 殊 災 害 科 第 4 7 期	警防・救助業務に従事している者又は従事する予定の者
	救 助 特 殊 災 害 科 (特殊災害のみ3日間入校)	救助科（令和6年度以前）を修了している者で、新たに特殊災害科教 科目のみを受講する者
幹 部	初 級 幹 部 科	消防司令補又は消防士長の階級にある者で昇任予定の者
	上 級 幹 部 科	消防司令長又は消防司令の階級にある者で昇任予定の者
特 別	指 導 員 研 修	消防副士長以上の階級で消防操法の指導的立場の者
	通 信 指 令 員 研 修	通信指令業務に従事している者又は従事する予定の者
	訓 練 指 導 者 育 成 研 修	30～40代で訓練指導的立場にある者又はその予定がある者 (階級は問わない)
	警 防 隊 員 研 修	初任教育修了後、概ね5年未満の者
	H T 研 修	消防本部に属する消防職員
	A F T 研 修	消防本部に属する消防職員
	消 防 本 部 企 画 訓 練 (AFT 半 日 入 校)	消防本部に属する消防職員
その他	救 急 救 命 士 再 講 習	救急救命士の資格を有する者

4 種別毎の入校対象者

消防団員教育

基 礎	普 通 科	熊本市に在籍する消防団員以外の新たに任命された消防団員又は基礎教育未受講者
専 科	機 関 科	消防団員で機関運用を行う者又は従事する予定の者
幹 部	初 級 幹 部 科	班長の階級にある者又はその職務と同等の市町村職員
	指 揮 幹 部 科 （ 現 場 指 揮 課 程 ）	部長、副分団長、分団長の階級にある者又はその職務と同等の市町村職員
	指 揮 幹 部 科 （ 分 団 指 揮 課 程 ）	部長、副分団長、分団長の階級にある者又はその職務と同等の市町村職員
特 別	女 性 隊 員 科	女性消防団員（隊員）にある者
	指 導 員 科	副団長、中級幹部科又は指揮幹部科（分団指揮課程）を修了した分団長、若しくは本部員、指導員等

その他の教育

一 般 消 防 教 育	各種団体の防災関連業務担当者等
-------------	-----------------

5 入校に伴う携行品

消防職員教育

教 育 種 別		携 行 品
共 通 携 行 品		制服（夏季時は盛夏服）、制帽、キャップ、黒短靴、活動服、皮手袋、編上靴、ヘルメット、トレーニングウェア（上下）、雨具、運動靴、上履き用スリッパ、洗面用具、筆記用具、（健康保険証利用の登録を行った）マイナンバーカード若しくは資格確認書、認印、その他日用品
初 任	初 任 科 第 7 1 期	共通携行品、寝具一式、水泳パンツ(帽)、消防手帳、防火衣一式（墜落制止用器具（胴ベルト型）を含む）、雑巾4枚
専 科	予 防 総 合 科	共通携行品、消防関係法規集
	予 防 総 合 科 （危険物のみ2日間入校）	
	救 急 科 第 3 5 期	共通携行品、消防関係法規集、医学用語辞典、救急ガウン
	救 助 特 殊 災 害 科 第 4 7 期	共通携行品、小綱、カラビナ、防火衣一式（墜落制止用器具（胴ベルト型）を含む）、フルハーネス（※可能な限り）
	救 助 特 殊 災 害 科 （特殊災害のみ3日間入校）	共通携行品
	初 級 幹 部 科	共通携行品、小綱、カラビナ、防火衣一式（墜落制止用器具（胴ベルト型）を含む）、消防関係法規集
	上 級 幹 部 科	共通携行品（編上靴、ヘルメット除く）、消防関係法規集
幹 部	指 導 員 研 修	アポロキャップ、活動服、皮手袋、運動靴、ヘルメット、筆記用具
	通 信 指 令 員 研 修	共通携行品
	訓 練 指 導 者 育 成 研 修	共通携行品、小綱、カラビナ、防火衣一式（墜落制止用器具（胴ベルト型）を含む）
	警 防 隊 員 研 修	共通携行品、小綱、カラビナ、防火衣一式（墜落制止用器具（胴ベルト型）を含む）
	H T 研 修	アポロキャップ、活動服、皮手袋、編上靴、ヘルメット、防火衣一式（墜落制止用器具（胴ベルト型）を含む）
	A F T 研 修	アポロキャップ、活動服、皮手袋、編上靴、ヘルメット、防火衣一式（墜落制止用器具（胴ベルト型）を含む）
	消 防 本 部 企 画 （AFT 半 日 入 校）	防火衣一式（墜落制止用器具（胴ベルト型）を含む）、その他消防本部による必要資機材。
	一 般 研 修	別途通知
特 別		
その他	救 急 救 命 士 再 講 習	別途通知

5 入校に伴う携行品

消防団員教育

基 礎	普 通 科	【通学者】 活動服（訓練用）、キャップ、ヘルメット、編上げ靴（貸与されていない場合は運動靴でも可）、手袋（皮手袋若しくは軍手）、筆記用具、雨具、上履き用スリッパ、着替等 【宿泊者】 活動服（訓練用）、キャップ、ヘルメット、編上げ靴（貸与されていない場合は運動靴でも可）、手袋（革手袋若しくは軍手）、筆記用具、雨具、上履き用スリッパ、着替等、トレーニングウェア（上下）、洗面用具（石鹸・シャンプー等含む）
専 科	機 関 科	
幹 部	初 級 幹 部 科	
	指 揮 幹 部 科 （ 現 場 指 揮 課 程 ） （ 分 団 指 揮 課 程 ）	
特 別	女 性 隊 員 科	
	指 導 員 科	

その他の教育

一 般 消 防 教 育	訓練のできる服装（長袖、長ズボン）、運動靴、帽子、筆記用具、手袋、着替等（雨天時は、雨具）
-------------	---

6 入校心得

1. 学生心得

■ 学生の専念義務

- 学生は、消防学校規則に基づき、教育訓練に関する諸規程及び学校職員の指示に従い、教育訓練に専念し、校訓を念頭に勉学しなければならない。

■ 規律の保持

□ 規律ある行動

- 学生は、礼節を重んじ、規律ある団体生活をする事。
- 専科学生は、初任科生等の模範となるように行動すること。

□ 面会及び関係者以外の立入禁止

- 面会は、当事者間において面談しなければ済ますことのできない用件がある場合のみとし、事務室で受付をしてから教官の指定する場所で面会すること。
- 校舎及び寄宿舎（以下「寮」という。）への立入りは、入校学生若しくは関係者以外禁止とする。
- 原則として、学校外から飲食物の提供を受けてはならない。

□ 飲酒について

- 学校内では、飲酒をしてはならない。持込、差入れもできない。
- 学校内での飲酒又は持込等が発覚した場合は、消防学校規則第23条に基づき、退校、謹慎、訓戒等の処分の対象になる。

□ 喫煙について

- 喫煙は、指定された場所又は灰皿のある場所で行うこと。（寮内は禁煙）
- くわえ煙草や歩行中の喫煙はしないこと。

□ その他

学校が許可するもの以外の器具及び娯楽用具を学校内に持ち込まないこと。

■ 入校前の事前指導

□ 入校学生への事前準備

- 消防職員にあっては、教育訓練計画に定める教育訓練の種別と目的を認識し、入校前に学力及び体力を養っておくこと。
- 入校予定者は、体調管理に努めること。

2. 服 装

■ 消防職員

□ 全 般

- 制服及び活動服等は所属指定のものとし、消防職員として正しく着用し、品位の保持に努めること。
- 制服の着用期間は、教育種別ごとに学校が指定する服装とすること。

□ 制服等の着用時の注意事項

- 教室での授業を受ける場合は、制服着用を原則とし、名札（必要に応じ学校で準備）・階級章（初任科不要）をつけること。
- 冬服のワイシャツは白無地とし、盛夏服及び制服着用時の下着は白の無地でU又はV首とする。
- 靴下は、黒又は紺色で無地（ワンポイント可）とし、着席時に素肌が見えない長さのものとする。

☐ 活動服（作業服）

- 活動服は、実技訓練時（作業及び教官等が指示する場合含む）に着用すること。
- 活動服の下着は、Ｔシャツ又は長袖（黒、紺色）とすること。
- 屋外での訓練時は、ヘルメット又はキャップ（初任科は学校で準備）、編上靴若しくは運動靴（靴下は、黒又は紺色）、皮手袋とする。

■ **消防団員**

☐ 授業の服装

- 教室では、訓練服、上履き用スリッパ（靴下着用）とする。
- 屋外では、訓練服、キャップ、ヘルメット、編上げ靴若しくは運動靴、手袋（皮手袋又は軍手）とする。

■ **寮生活の服装**

☐ 寮内での服装

- 寮内では、トレーニングウェア、トレーナー、Ｔシャツ等を着用すること。
- Ｔシャツはズボンの中に入れ、靴下（黒又は紺色）は必ず着用すること。
- 服装は、華美なものや下着と紛らわしい物は着用しないこと。

☐ 点呼時の服装

- 日朝点呼は、トレーニングウェア、キャップ、運動靴（靴下着用）とする。
- 日夕点呼は、トレーニングウェア、スリッパ（靴下着用）とする。

☐ 登下校時の服装

外出、外泊及び登下校中の服装は、公務員としての品位の保持に配慮すること。
（※ジーパン、ジャージ等禁止）

3. 容 姿

■ **消防職員**

☐ 学生としての心構え

- 容姿は、消防職員（公務員）として職責の自覚を持ち、端麗で清潔に保つこと。
- 頭髪は短髪とし、ヒゲ及びもみあげを伸ばさないこと。（爪の手入れも同様）
- 学校内でのアクセサリ等の着用は禁止する。

☐ 女子学生について

- 髪型はショートカットか、長い場合は訓練に支障がないように束ねること。
- 化粧は、華美にならないようにすること。

4. 授業心得

■ **教室で授業を受ける場合の心得**

☐ 授業について

- 教室では、講義開始5分前には、座席表の席次により、静かに着席しておくこと。
- 学生として授業を受けていることを自覚し、講師等に失礼のないようにすること。

■ **屋外で授業を受ける場合の心得**

☐ 授業について


- 授業開始前には日直の指揮のもとで準備を行い、教官等から指示された場所に5分前に隊形を整え、「整列休め」の姿勢で待機すること。
- 訓練中は、指示がない限り、脱帽したり、腰を下ろしたりしないこと。
- 屋外では、基本的に行動は全てかけ足とすること。

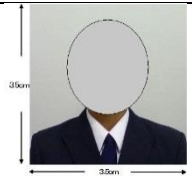
7 入校手続き

(1) 初任科第71期入校手続き要領

■ 申込要領

□ 申込書類について

申 込 種 別	様 式		申 込 要 領	
消防職員入校申込書	様式 1	17㌘	入校者分をまとめて、本部每一括で送信すること。 フリガナ欄は「半角カタ」で入力すること。	
身上書	様式 8	17㌘	様式を入校者分コピーして、その (Sheet) に氏名 (〇〇〇〇) を記入し、本部毎に一括で送信すること。 運動着サイズ欄は、下表から選択し入力すること。	
車両乗入申請書	様式 9	17㌘	車両で通学する者は、車検証、運転免許証、任意保険の写しを添えて申請すること。入校後に新規申請又は車両変更した場合は、学生が申請する。	
初任科写真提出用	様式 10	17㌘	写真はカラー撮影で、制服で無帽、無背景で真正面の両肩から上を 1 枚あたり 50KB 以下で撮影し、様式に縦、横約 3.5cm の画像を挿入し、氏名を入力のうえ送信すること。	
健康診断書	任 意		様式は定めない。各消防本部で採用した時点で著変がなければ、写し (PDF 送信) で構わない。	



□ 運動着サイズ一覧(男女兼用 JASPO規格)

サ イ ズ	SS	S	M	L	O	XO	2XO	3XO
身 長	157~163	162~168	167~173	172~178	177~183	182~188	187~193	192~198
チェスト	81~87	85~91	89~95	93~99	97~103	101~107	105~111	109~115
ウェスト	67~73	71~77	75~81	79~85	83~89	87~93	91~97	95~101

□ 提出方法について

- 各入校申込書様式に必要事項を記入のうえ、メールに添付して送信すること。
(エクセル、ワードのバージョンは問わないが、書式の変更やエクセル書式をワードに変更等不可)
- 宛名を「職員〇〇〇科入校申込(●●●消防本部 〇〇名)」と入力して、消防学校の所属メールアドレス「shoubougakkou@pref.kumamoto.lg.jp」に送信すること。
- メールに添付する各種様式の容量は、4MB未満とし、容量を超える場合は分割して送信するか、LGWAN(総合行政ネットワーク)等で送信すること。

□ 入校決定時期については、次のとおりとし、各所属へ通知します。

- 入校決定時期は、令和8年(2026年)3月中旬

■ 入寮入校手順

□ 入寮受付について

- 入寮受付は、入寮日(令和8年4月7日(火))の午前7時45分から屋内訓練場にて制服、制帽、黒短靴で行うので、受付時間までに登校すること。
- 寝具一式(掛布団、敷布団、毛布、シーツ、枕等)を準備すること。
- 入校前に宅配便等で寝具等を送付する場合は、次に指定する日の午前9時から午後5時までに配達を指定すること。(持参する場合も同様とする)
・令和8年(2026年)4月1日(水)、2日(木)、3日(金)

□ 入校に伴う事前指導について

- 5ヶ月半の教育訓練において、屋外での実技訓練や週1回走力養成を実施するので、それらに耐える体力を養成しておくようご指導ください。
- 入校予定者には、事前学習資料(別途配布)による自己学習に努めるようご指導ください。

(2) 消防職員入校手続き要領

■ 申込要領

□ 申込書類について

申 込 種 別	様 式		申 込 要 領
職員入校申込書 (指導員研修含む)	様式 1	エクセル	入校者分をまとめて、本部每一括で送信すること。 フリガナ欄は「半角カナ」で入力すること。
問診票	様式 3	エクセル	様式を入校者分コピーして、その(Sheet)に氏名(〇〇〇)を記入し、本部毎に一括で送信すること。
入校アンケート (任意提出)	様式 4	ワード	入校者分を一つの様式に追加して本部毎に一括で送信すること。 ※教科目に関する具体的な質問や訓練内容に対する要望等があるなど、提出を必要と判断される場合のみ。
事例研究討議資料	様式 5	ワード	入校者分を一つの様式に追加して本部毎に一括で送信すること。
一般研修申込書	様式 6	エクセル	入校者分をまとめて、本部毎に一括で送信すること。 (消防職員専科課程等における聴講者用)
通学承認申請書	別紙 1	ワード	やむを得ない事情により通学となる場合に提出すること。

□ 提出方法について

- 各入校申込書様式に必要事項を記入のうえ、メールに添付して送信すること。
(エクセル、ワードのバージョンは問わないが、書式の変更やエクセル書式をワードに変更等不可)
- 宛名を「職員〇〇〇科入校申込(●●●消防本部 〇〇名)」と入力して、消防学校の所属メールアドレス「shoubougakkou@pref.kumamoto.lg.jp」に送信すること。
- メールに添付する各種様式の容量は、4MB未満とし、容量を超える場合は分割して送信するか、LGWAN(総合行政ネットワーク)等で送信すること。

□ 入校決定について

入校対象者要件等に該当しないと認めた場合のみ通知します。

■ 入寮入校手順

□ 学生の入寮について

消防学校規則第25条「学生は、寄宿舎へ入舎しなければならない。ただし、学校長の承認を得たときは、この限りでない。」により、やむを得ない事情により通学となる場合は、学校長の承認が必要となるので、通学承認申請書(別紙1)を提出し承認通知を受けること。

□ 受付について

受付は、入校日の午前7時45分から午前8時15分までに寄宿舎玄関にて行う。

服装は私服とし、以下の点に留意すること。

- ・男性はスーツ、ワイシャツを標準とし(ネクタイ不要)、女性はこれに準じたスーツスタイルとする。
- ・5月から10月まではクールビズ期間とし、ネクタイ及びスーツの上着は着用せず軽快な服装とする。(半袖ワイシャツ及びポロシャツ可とする)

□ 外出について

- 3日以上 の課程は、原則毎週水曜日を外出日(夕食なし)とする。
- 外出時間は午後5時15分以降とし、午後9時40分までには帰校すること。

□ 入校に伴う事前指導について

- 各消防本部におかれては、教育訓練計画に定める教育訓練の種別と目的を認識し、入校前に学力及び体力を養っておくよう指導をお願いします。

(3) 消防団員及びその他の入校手続き要領

■ 申込要領

□ 申込書類について

申 込 種 別	様 式		申 込 要 領
消防団員入校申込書	様式 2	17ㄗ	入校者分をまとめて、市町村毎に一括で送信すること。 フリガナ欄は「半角カナ」で入力すること。
一般消防教育申込書	様式 7	17ㄗ	初任者研修（公立・県立学校）・各種団体、自主防災組織、 自衛消防隊・防火クラブ等で制度を利用する者。

□ 提出方法について

- 各入校申込書様式に必要事項を記入のうえ、メールに添付して消防学校の所属メールアドレス（shoubougakkou@pref.kumamoto.lg.jp）に送信すること。
（エクセル、ワードのバージョンは問わないが、書式の変更やエクセル書式をワードに変更等不可）
- 宛名を「団員〇〇〇科入校申込〔●●●市町村 〇〇名〕」と入力して、送信すること。
※複数回開催は、「第〇回団員指揮幹部科（〇〇課程）入校申込〔●●●市町村 〇〇名〕」

■ 入寮入校手順

□ 入校申込みについて

- 各消防団員課程の入校受け入れは、1回の課程につき、80名程度とする。
- 一つの市町村で1回の課程につき、20名までを入校上限とする。
- 入校受付は、電子メールによる受付とし、受付開始日の午前8時30分から受付締切日午後5時00分までで、先着順（メール受信）とする。
- 複数回開催する指揮幹部科（現場指揮課程、分団指揮課程）及び初級幹部科においては、先着に漏れた市町村を次回の優先入校市町村とする。
（年度持越しはしない。）
- 優先市町村の入校申込みの宛名は、次のとおりとする。
「優先◆◆名 第〇回団員指揮幹部科（〇〇課程）入校申込〔●●●市町村 △△名〕」
（※◆◆は優先決定時の申込数、△△は入校申込み数）
- 優先決定時の申込者数を超える人員については、新規に申し込むこと。
ただし、優先市町村申込者数と新規追加分の合計が20名までとし、次のとおり申し込むこと。
「追加◇◇名 第〇回団員指揮幹部科（〇〇課程）入校申込〔●●●市町村 △△名〕」
（※△△は、優先時の申込数と新規追加の申込合計数、◇◇は新規の入校申込み数）
- 入校申込みが決定した時点で、消防学校ホームページに情報を掲載する。
- 入校決定後、申し込み数の減が生じた場合は、速やかにメールにて申し込みを行い、担当教官へ電話連絡を行うこと。

□ 教育訓練計画中止について

入校申込み人員が20名未満の場合は教育訓練を中止する。

□ 宿泊での入校制限について

他の教育訓練期間との重複により寮室の収容人数を上回る宿泊申し込みがあった場合又は宿泊申し込みが少数の場合は、通学での入校を調整させていただきます。

□ 受付について

受付は、入校日の午前7時45分から午前8時15分までに寮玄関で行う。

服装は活動服、キャップ、運動靴若しくは編上げ靴とする。

■ その他の入校

その他の入校については、一般消防教育申込書（様式7）にて対応する。

(4) 入校経費

消防学校に入校する学生は、入校経費として食費及び教育資料費（図書教材費、実習費、共益費等）を校友会へ支払うものとする。

■ 納入方法

- ① 入校経費は、口座振込「肥後銀行秋津支店」（普通口座 1 1 3 1 3 0 9）とする。
- ② 名義は、「熊本県消防学校」とする。
- ③ 食費を入校日に現金でお支払いの場合は、事前に校友会担当者までご連絡ください。

■ 支払期限

- ① 消防職員は、原則として入校日前日までとする。ただし、食費については入校日支払いも可とする。
- ② 消防団員及びその他については、原則として請求書到着から 20 日以内とする。

■ その他

- ① 消防団員の入校経費は、校友会事務局から入校市町村宛てに請求書を発行する。
（郵送に係る費用は校友会が負担）
なお、請求書のご不明な点については校友会までご連絡下さい。
「電話（096-286-9222）」 「メール（kfa-kumamoto@orion.ocn.ne.jp）」
- ② 食材発注の都合上、実施日の 14 日前を過ぎてからのキャンセルの場合は、食事代をご負担いただきます。

通 学 承 認 申 請 書

熊本県消防学校長 様

令和 第 年 月 日 号

〇〇〇〇消防本部（局）

消防（局）長 〇〇 〇〇

（公印省略）

入校に伴う通学について、下記のとおり承認申請します。

記

教 育 種 別	〇〇〇〇科
教 育 期 間	令和〇〇年〇〇月〇〇日（〇）から令和〇〇年〇〇月〇〇日（〇）

NO	通学者氏名	通 学 理 由

通 学 承 認 通 知 書

熊消字第 令和 年 月 日 号

〇〇〇〇消防本部（局）

消防（局）長 〇〇 〇〇 様

熊本県消防学校長

（公印省略）

上記のとおり申請のありました、入校に伴う通学については承認します。

番 号
令和 年 月 日

熊本県消防学校長 様

〇〇〇〇消防本部（局）
消防（局）長
〇〇 〇〇
[公印省略]

消 防 職 員 入 校 申 込 書

消防学校教育訓練計画に基づき、下記のとおり入校を申し込みます。

記

1.	入 校 種 別	〇〇〇〇科		
2.	入 校 期 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇) から 〇〇月〇〇日(〇)		
3.	入 校 者 数	〇〇名		
4.	入 校 代 表 者	階 級	氏 名	連絡先
5.	事 務 担 当 者	職 名	氏 名	連絡先

入 校 者 名 簿

NO	階 級	職 名	氏 名	フリガナ	年 齢	採用年	期生	宿泊別
	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	★〇〇 〇〇	〇〇〇〇 〇〇〇	〇〇歳	H〇〇 R〇〇	第〇〇期	宿泊 通学

(注) 1 個人情報について、教育の目的の範囲内で使用し、その管理は厳重に行います。

(注) 2 女性の方には氏名の前に★印をお願いします。

番 号
令和 年 月 日

熊本県消防学校長 様

市 町 村 長
[公印省略]

消 防 団 員 入 校 申 込 書

消防学校教育訓練計画に基づき、下記のとおり入校を申し込みます。

記

1.	入 校 種 別	〇〇〇〇科（〇〇〇〇課程） <small>{普通科、機関科、初級幹部科、指揮幹部科（現場指揮・分団指揮課程）、女性隊員科、指導員科}</small>		
2.	入 校 期 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇) から 〇〇月〇〇日(〇)		
3.	入 校 者 数	〇〇名		
4.	入 校 代 表 者	階 級 <small>（団員、班長、部長、副分団長、分団長、指導員、本部員、団長、その他）</small>	氏 名	連絡先
5.	事 務 担 当 者	職 名	氏 名	連絡先

入 校 者 名 簿

NO	宿泊別	階 級	氏 名	フリガナ	年齢	健康状態	緊急連絡先
	宿泊 通学	〇〇〇〇	★〇〇 〇〇	〇〇〇〇 〇〇〇	〇〇歳	良好・普通 （既往歴）	緊急連絡先

(注) 1 個人情報について、教育の目的の範囲内で使用し、その管理は厳重に行います。

(注) 2 女性の方には氏名の前に★印をお願いします。

問 診 票

氏 名		所 属					
		生年月日		年齢		性別	

1. 現在の病気等

①現在の病名		②医師の指示事項	

③既往歴		④アレルギー	

2. 現在の状態

動 悸		息 切 れ		不 整 脈		他の症状
め ま い		耳 鳴 り		皮 膚 病		
胸 痛		腰 痛		関 節 痛		

(注) 上記の問診に当てはまるところに「ある」又は「ない」を記載して下さい。

3. 身体検査

身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)		視 力		血圧 (mmHg)		血液型
		右		右		最高		
		左		左		最低		

上記のとおりで、実技訓練等を含む教育訓練には差し支えありません。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇〇消防本部（局）

消 防（局）長 〇 〇 〇 〇

[公印省略]

(注) 個人情報について、教育の目的の範囲内で使用し、その管理は厳重に行います。

入 校 ア ン ケ ー ト（任意提出）

氏 名		所 属		年 齢	
1. 質疑事項 ※教科目名は5 ページ～の「教育訓練科目別時間数」をご参照ください。複数回答可 ※教科目に関する具体的な質問や訓練内容に対する要望等があるなど、必要と判断される場合のみ提出。					
教科目名	質 疑 事 項				
(例) 安全管理：救助訓練時の安全管理	(例) 隊員の殉職事案では、情報の統制や各隊との連携不足が要因となる可能性が高い。自隊では日々訓練を行い隊員同士の連携は十分だと考えるが、当本部は指揮隊が充実しておらず、複数の隊が出場する事案における他隊との連携や情報の集約について苦慮しているため、情報統制要領や連携強化について効率の良い訓練方法を学びたい。				

（注）質疑事項は、入校する課程に応じて具体的に記入して下さい。

事例研究討議資料

氏 名		所 属		実務 経験	年
事例区分	教 育 種 別	事 例 内 容			
題 目					
要 旨					
1. 題目の現状、背景等について記入して下さい。					
2. 自己隊等について、自己の経験に基づき詳細に記入すること。					
3. 問題点について記入して下さい。資料等必要なものは持参すること。					
4. 考察について記入して下さい。					

(注) 作成は、題目に関する背景、現状、問題点等が十分に理解できるように記載すること。

番 号
令和 年 月 日

熊本県消防学校長 様

〇〇〇〇消防本部（局）
消防（局）長 〇〇 〇〇
[公印省略]

消 防 職 員 一 般 研 修 申 込 書

消防学校教育訓練計画に基づき、下記のとおり一般研修を申し込みます。

記

1.	研 修 科 目	〇〇〇〇科		
2.	研 修 者 数	〇〇名		
3.	研 修 代 表 者	階 級	氏 名	連絡先
4.	事 務 担 当 者	職 名	氏 名	連絡先

入 校 者 名 簿

NO	階 級	職 名	氏 名	年齢	研修月日	研修時間	研修科目
	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	★〇〇 〇〇	〇〇歳	〇〇月〇〇日	〇〇時～〇〇時	〇〇科 〇〇〇〇〇

(注) 1 個人情報について、教育の目的の範囲内で使用し、その管理は厳重に行います。

(注) 2 女性の方には氏名の前に★印をお願いします。

熊本県消防学校長 様

団体名
責任者 ○○ ○○
[公印省略]

一 般 消 防 教 育 申 込 書

このことについて、下記により一般消防教育を希望したいので、申し込みます。

記

1.	利 用 団 体 名	○○○○					
2.	利 用 種 別	・初任者研修 ・防火クラブ等	・自衛消防隊 ・一般消防教育	利用者数	○○名	昼食数	○○名
3.	利 用 月 日	令和○○年○○月○○日(○) から 令和○○年○○月○○日(○) まで					
4.	利 用 時 間	○○時○○分から○○時○○分まで					
5.	事 務 担 当 者	○○課 ○○係 ○○係長	氏名○○ ○○		連絡先		

教育訓練及び学校施設・教材等の利用内容

1.○○○○ ○○○○
2.○○○○ ○○○○
3.○○○○ ○○○○

参 加 者 名 簿

NO	所 属	氏 名	フリガナ	年 齢	備 考
	○○○○○	★○○ ○○	○○○ ○○○○		

(注) 1 個人情報について、教育の目的の範囲内で使用し、その管理は厳重に行います。
(注) 2 女性の方には氏名の前に★印をお願いします。

身 上 書

フリガナ		生 年 月 日	年齢	性別	血液型
氏 名					

所 属	〇〇〇〇消防本部（局）	運動着 サイズ	Tシャツ 短パン	
-----	-------------	------------	-------------	--

現 住 所	〒			電 話 番 号	
			電話		
			携帯		

緊 急 時	氏 名	続柄	所在地又は勤務先名称	電 話 番 号	携 帯 番 号
自 宅					
勤 務 先					

学 歴	卒 業 年 月	学 校 名
	年 月	
	年 月	
	年 月	

職 歴	勤 務 先 又 は 業 種	在 職 期 間	
		年 月	
		年 月	
		年 月	

免 許 資 格	取得年	免許・資格種別	取得年	免許・資格種別
	年		年	
	年		年	
	年		年	
	年		年	
	年		年	

趣 味		特 技	
-----	--	-----	--

健康状態		既 往 歴		アレルギー	
------	--	-------	--	-------	--

（注） 個人情報について、教育の目的の範囲内で使用し、その管理は厳重に行います。

車両乗入申請書

熊本県消防学校長 様

所 属 _____
氏 名 _____

私は、いかなる時も、道路交通に関する法令を遵守し地方公務員並びに熊本県消防学校の学生として、他の模範となる安全運転をいたしますので、下記車両の乗り入れを許可していただきますよう申請します。

なお、行政処分該当する交通違反、又は交通事故を起こした場合は、以後公共交通機関を利用します。

記

メーカ名		車種名
車両登録番号		次回車検日
免許の種類		免許有効期限
任意保険加入状況		※ 処 理 欄
対人保険		
対物保険		

(注) 1 ※印欄は、不記入。
2 添付書類は、次のとおりとする。
①免許証の写し ②車検証の写し ③任意保険証の写し（申請書に適用されるもの）

様式9-2

様式9-2

第 一 号

車両乗入許可証

氏 名

登録番号

車 種 名

年 月 日

熊本県消防学校長

[公印省略]

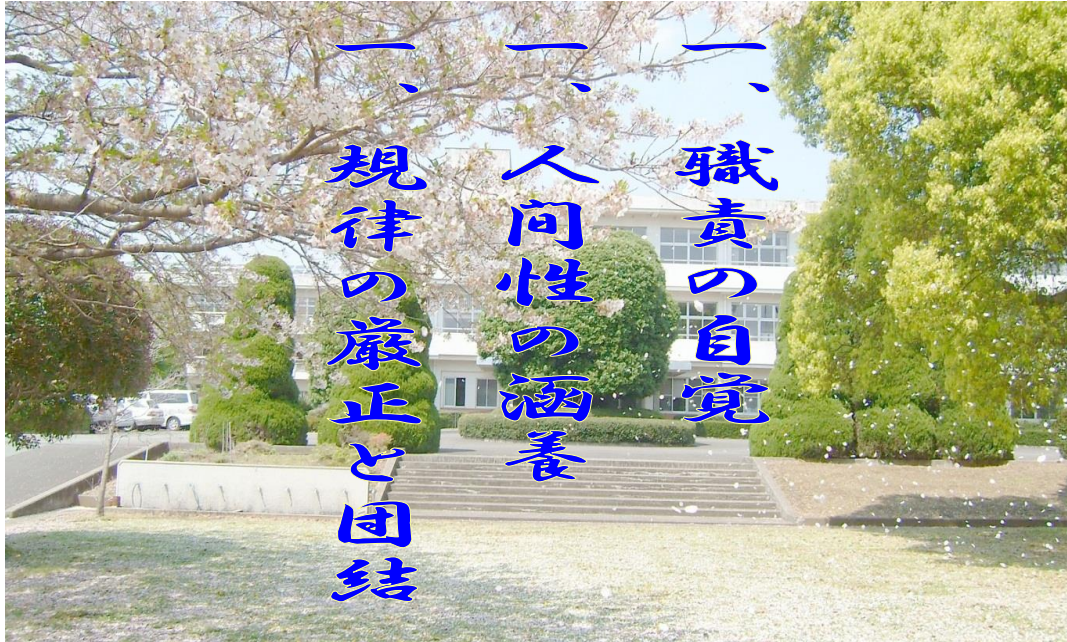
初 任 科 写 真 提 出 用

	消防本部名	
<div>写真画像</div>	<div>写真画像</div>	<div>写真画像</div>
氏 名	氏 名	氏 名
<div>写真画像</div>	<div>写真画像</div>	<div>写真画像</div>
氏 名	氏 名	氏 名
<div>写真画像</div>	<div>写真画像</div>	<div>写真画像</div>
氏 名	氏 名	氏 名
<div>写真画像</div>	<div>写真画像</div>	<div>写真画像</div>
氏 名	氏 名	氏 名

※ 点線枠内(3.5cm×3.5cm) に、必ず合せて下さい。

※ 写真は、制服で無帽、無背景で真正面の両肩から上をカラー撮影してください。

校 訓



消防学校校歌

一、	二、	三、
若き陽躍る 阿蘇の峰 清新の雲 光り飛ぶ ああ向学の 意気燃えて 練磨の庭に 励み起つ われらの 消防学校に 見よ躍進の 息吹あり	さみどり 勾ふ 益城野に 明朗の風 湧き起る ああ団結の 旗のもと 試煉に耐えて 進むもの われらの 消防学校に 見よ澆刺の 気魄あり	有明はるか 波に映え 友愛の虹 かけ渡す ああ伝統の 花かざし 郷土の守り 担ひゆく われらの 消防学校に 見よ栄光の 使命あり